

(仮称) 西信達義務教育学校の建設に関するアンケート調査結果

令和5年10月5日

I 調査概要

①調査目的

- (仮称) 西信達義務教育学校の建設に向け“新しい義務教育学校の目指す姿 (コンセプト)” や “学校に必要な教室・機能” 等について、西信達地区住民の意見を把握するため実施しました。
- 調査結果は、西信達地区ワークショップや泉南市学校施設検討委員会における検討の基礎資料として活用し、西信達地区住民の意見を踏まえた「(仮称) 西信達義務教育学校基本計画」を策定します。

②調査方法

- 対象地域 : 西信達小中学校区
- 調査対象 : 調査地域に在住している住民 (世帯主) から約 1,000 世帯を無作為抽出
- 調査時期 : 令和5年7月5日から令和5年7月28日まで
 - ・ 令和5年8月24日までに提出された回答を含め集計
- 調査方法 : 調査票を住民 (世帯主) に郵送し、郵送で回答
 - ・ 記入は宛名のご本人様に限らず、世帯のどなたかが記入
 - ・ 小学生や中学生のご家族がいる場合は、ご意見を聞きながら記入

③配布回収数

- 配布数 1,037 票のうち、回収数は 339 票であり、回収率は 32.7%でした。

【アンケート配布回収数】

配布回収数	票数 (%)
アンケート配布数	1,037
アンケート回収数	339
アンケート回収率	32.7%



④報告書の見方

- 複数回答形式 (該当するものすべてを選ぶ形式) の場合、合計は 100.0%を超えます。
- 「無回答」は、回答が記載されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 「その他の主な回答」で文字数が多いものは、簡略化して記載している場合があります。

2 調査結果

1. あなたご自身のことについて

■回答者属性

<性別>

○回答者の性別は、男性が47.8%、女性が46.6%でした。

<年代>

○40～70歳代が約8割（合計78.2%）であり、70歳代の回答（24.2%）が最も多くなっています。

<居住年数>

○居住年数「20年以上」の回答（67.5%）が最も多く、次いで「10年以上20年未満」の回答（19.5%）が多くなっています。

○居住年数10年以上が約9割（合計87.0%）となっています。

<家族構成>

○「2世代世帯（親と子）」の回答（42.8%）が最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」の回答（29.8%）が多くなっています。

○2世代以上の世帯が約5割（計49.9%）となっており、約半数の回答者が子どもと暮らしています。

【回答者属性（性別・年代・居住年数・家族構成）】

性別	回答数	割合	居住年数	回答数	割合
男性	162	47.8%	3年未満	12	3.5%
女性	158	46.6%	3年以上～5年未満	7	2.1%
回答しない	19	5.6%	5年以上～10年未満	22	6.5%
合計	339	100.0%	10年以上～20年未満	66	19.5%
			20年以上	229	67.5%
			無回答	3	0.9%
			合計	339	100.0%
年代	回答数	割合	家族構成	回答数	割合
～15歳	0	0.0%	単身世帯（ひとり暮らし）	44	13.0%
16～29歳	10	2.9%	夫婦のみ世帯	101	29.8%
30～39歳	27	8.0%	2世代世帯（親と子）	145	42.8%
40～49歳	53	15.6%	3世代世帯（親と子と孫）	24	7.1%
50～59歳	72	21.3%	その他	17	5.0%
60～69歳	58	17.1%	無回答	8	2.3%
70～79歳	82	24.2%	合計	339	100.0%
80歳以上	36	10.6%			
無回答	1	0.3%			
合計	339	100.0%			

※子の属性は、高校生まで（小学校未就学児・小学生・中学生・高校生）

2. 現在の西信達地区の小中学校教育について

問1 現在の西信達地区の小中学校の活動や関連した取組で今後も継続してほしいことはありますか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

- 「子どもたちの理解度に合わせた学習環境づくり」の回答(64.9%)が最も多くなっています。
- また、「子どもたちの健康面や精神面のサポート」「青色防犯パトロール、見守り活動等の子どもたちの生活を見守る活動」「避難訓練や交通安全教室等の防災教育・防犯学習の実施」の順に回答が多く、約6割の回答率でした。
- 次いで、「JETプログラム※²-ALT※³を活用した国際交流と外国語教育の推進」「西信達ふれあいフェスタ、海岸清掃、地引網体験等の地域と連携した取組」「ICT※¹を活用した学習環境の整備」「子どもたちの生活面への指導やサポート」の順に回答が多く、約5割の回答率でした。

【問1 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 子どもたちの理解度に合わせた学習環境づくり	220	64.9%
2 ICT※ ¹ を活用した学習環境の整備	166	49.0%
3 JETプログラム※ ² -ALT※ ³ を活用した国際交流と外国語教育の推進	184	54.3%
4 青色防犯パトロール、見守り活動等の子どもたちの生活を見守る活動	188	55.5%
5 西信達ふれあいフェスタ、海岸清掃、地引網体験等の地域と連携した取組	169	49.9%
6 子どもたちの生活面への指導やサポート	155	45.7%
7 子どもたちの健康面や精神面のサポート	189	55.8%
8 避難訓練や交通安全教室等の防災教育・防犯学習の実施	188	55.5%
9 PTA活動等の保護者と教職員が協力し合う活動	93	27.4%
10 その他	8	2.4%
平均(その他を除く)	172	50.9%

<その他の主な回答>

- 他の区との交流
- クラブ部活動の種類を増やしてほしい
- 挨拶・礼儀/放課後の遊び場
- 西信達子育て支援センター「ぽかぽかルーム」
- 夜間の子どもたちの行動の見守り(特に高学年)

※用語の説明

ICT : Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略称で、情報通信技術を使ってどのように人々の暮らしを豊かにしていくかという活用方法に関する考え方です。

JETプログラム : 語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Program) の略称で、地方自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施しています。

ALT : JETプログラム参加者の職種の一つであり、外国語指導助手(ALT: Assistant Language Teacher) の略称で、主に学校又は教育委員会に配属されます。日本人外国語担当教員の助手として外国語授業に携わり、教育教材の準備や英語研究会のような課外活動等に従事します。

問2 現在の西信達地区の小中学校教育で気がかりなことはありますか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

○「通学路の安全確保」の回答(53.1%)が最も多くなっています。

○次いで、「子どもたちの人間関係」「子どもたちの遊び場の安全確保」「子どもたちの学習状況や学習環境」「学校施設の安全確保」の順に回答が多く、約4～5割の回答率でした。

【問2 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 通学距離や通学にかかる時間	33	9.7%
2 通学路の安全確保	180	53.1%
3 通学手段	25	7.4%
4 子どもたちの人間関係	162	47.8%
5 子どもたちの学習状況や学習環境	144	42.5%
6 子どもたちが参加できる地域の活動	78	23.0%
7 子どもたちの遊び場の安全確保	153	45.1%
8 PTA活動等の保護者と教職員が協力し合う活動	53	15.6%
9 学校施設の安全確保	138	40.7%
10 その他	9	2.7%
平均(その他を除く)	107	31.7%

<その他の主な回答>

- 遊ぶ場所がありますか
- 小学校前的一方通行道路が危ない(車のスピードを落とす工夫が必要)
- 設備が古い
- 本当に1～9年生が通える学校ができるのでしょうか。
- 子どもたちが地域にとけこむ活動



3. (仮称) 西信達義務教育学校に期待することや気がかりなことについて

以下の設問は、【参考資料：義務教育学校について】を参考にして、ご回答ください。

問3 義務教育学校の内容について知っていますか。

(該当するもの1つに○をつけてください。)

○義務教育学校について知っている回答(合計53.7%)は半数程度でした。

【問3 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 よく知っている	23	6.8%
2 ある程度知っている	159	46.9%
3 このアンケートで初めて知った	152	44.8%
無回答	5	1.5%
合計	339	100.0%

【参考資料：義務教育学校について】

●西信達義務教育学校について

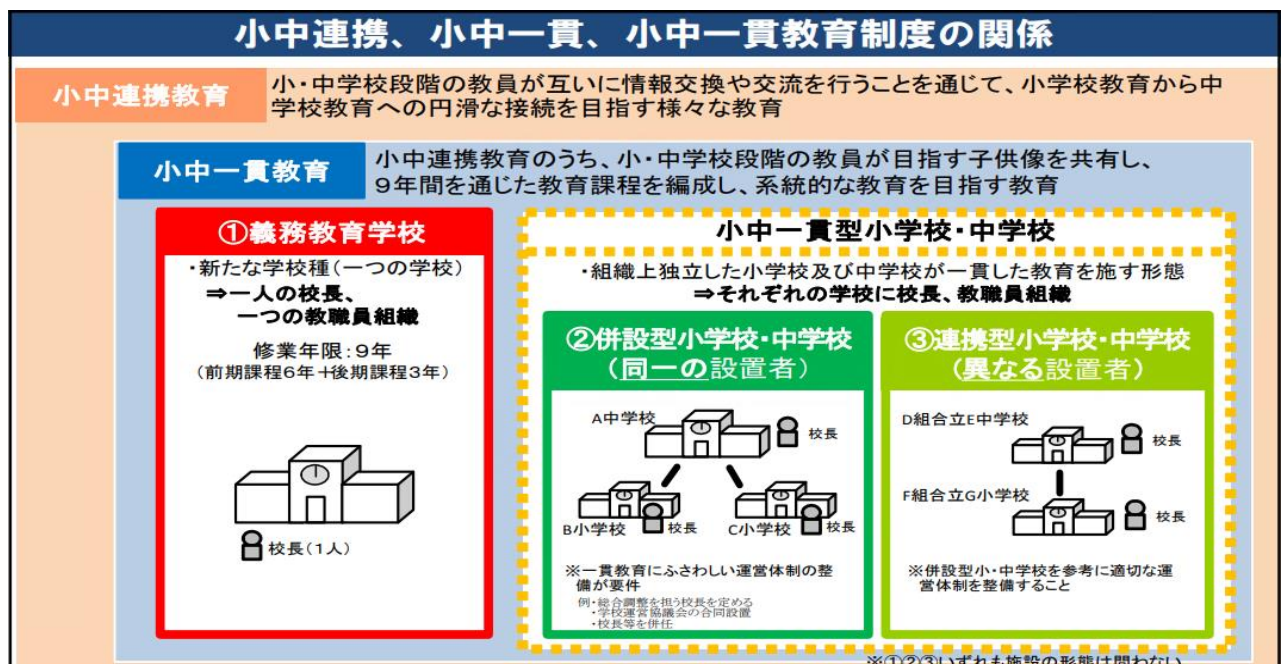
西信達小学校は今年で150周年を迎え、西信達中学校は約80年の歴史を持つ伝統校で、両校はこれまで一小一中で連携を取りながら教育活動を進めてきました。特に、保護者や地域の方々の協力をいただきながら、小中一体として、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支援してまいりました。

このような実態を踏まえて、これまでとおり地域の方々と共に子どもたちにとってよりよい学校とするため、小学校から中学校まで9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校の制度を導入することが効果的であると考え、西信達義務教育学校とすることとしています。

●義務教育学校とは？

義務教育学校は、小中一貫教育を推進するための制度の一つです。

一人の校長のもと、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校のことです。



図：「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」文部科学省作成 P17 平成28年12月

問4 (仮称)西信達義務教育学校について期待することは何ですか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

- 「9年間を見通した学習指導による各教科の学力向上」の回答(57.8%)が最も多くなっています。
- 次いで、「9年間を見通した外国語学習や国際理解を深める学習の充実」「小中学校が1つになることによる小中学校教職員の連携の強化」「9学年の異学年交流による上級生の思いやりの心や面倒見の良さの育成」の順に回答が多く、5割以上の回答率でした。

【問4 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 9年間を見通した学習指導による各教科の学力向上	196	57.8%
2 9年間を見通した外国語学習や国際理解を深める学習の充実	178	52.5%
3 9年間を見通したICT教育や情報学習の充実	139	41.0%
4 9学年の異学年交流を活かした活動の促進	119	35.1%
5 9学年の異学年交流による上級生の思いやりの心や面倒見の良さの育成	171	50.4%
6 9学年の異学年交流による下級生が上級生に対して目標意識を持つ等の精神的成長	125	36.9%
7 小中学校が1つになることによる小学校から中学校への環境の変化の緩和	112	33.0%
8 小中学校が1つになることによる小中学校教職員の連携の強化	175	51.6%
9 小中学校が1つになることによる子どもたちの心身の発達に優しい環境整備	120	35.4%
10 その他	14	4.1%
平均(その他を除く)	148	43.8%

<その他の主な回答>

- 小学校と中学校の指導方法についての連携
- ボランティア活動
- 閉鎖的なコミュニティとならないように他地域との持続的な交流
- 災害時の大規模避難所でトイレやお風呂に安心して入れる設備
- 現在の西信達地区の有効化・岡田駅の拡大・バリアフリー化
- 施設をまとめることによる効率化と浮いた予算でよりよい教育に回すこと



問5 (仮称)西信達義務教育学校について気がかりなことは何ですか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

- 「子どもたちの9年間の人間関係の固定化」の回答(59.6%)が最も多くなっています。
- また、「小学校と中学校の区切りがなくなることによる気持ちの変化するきっかけの減少」の回答(49.9%)が多くなっています。
- 次いで、「小学生と中学生の体格差のある子どもたちが同じ学校に通うことによる影響」「小学校高学年にあたる子どもたちのリーダー性や自主性の育成」「通学路の安全確保」「子どもたちの遊び場の安全確保」「小学校6年間-中学校3年間の学習から9年間の連続した学習への変化」の順に回答が多く、約3割の回答率でした。

【問5 回答】

選択肢(複数回答)		回答数	回答率
1	小学校6年間-中学校3年間の学習から9年間の連続した学習への変化	88	26.0%
2	小学校と中学校の区切りがなくなることによる気持ちの変化するきっかけの減少	169	49.9%
3	小学校高学年にあたる子どもたちのリーダー性や自主性の育成	105	31.0%
4	子どもたちの9年間の人間関係の固定化	202	59.6%
5	子どもたちの学習状況や学習環境	74	21.8%
6	子どもたちが参加できる地域の活動	34	10.0%
7	子どもたちの遊び場の安全確保	93	27.4%
8	通学距離や通学にかかる時間の変化	47	13.9%
9	通学路の安全確保	101	29.8%
10	通学手段	19	5.6%
11	小学生と中学生の体格差のある子どもたちが同じ学校に通うことによる影響	108	31.9%
12	その他	21	6.2%
平均(その他を除く)		95	27.9%

<その他の主な回答>

- 何もしなくても進級できる環境によって、学習意欲のない生徒の増加と指導する教職員の負担が気がかり
- 避難場所が減少
- いじめの逃げ場がない
- 中学校に行くという、一つの大切な「きっかけ」を失う
- 中学生が小学生に与える悪影響
- 人数が少ない上に2クラスしかない
- 西信達地区だけで小中学校を終わらせることは良くないと思う。他の学校と交わることで人間関係が広がると思う。
- 制服について

4. (仮称) 西信達義務教育学校と地域の連携について

問6 あなたは(仮称)西信達義務教育学校とどのように関わりたいですか。

(該当するものすべてに○をつけてください。)

○「各種行事への応援、遊び、防災活動等の学校行事の支援をしたい」の回答(34.2%)が最も多くなっています。

○次いで、「清掃、花壇の手入れ、図書室の整備、挨拶運動等の環境整備・安全支援をしたい」の回答(23.0%)が多くなっています。

【問6 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 各種行事への応援、遊び、防災活動等の学校行事の支援をしたい	116	34.2%
2 清掃、花壇の手入れ、図書室の整備、挨拶運動等の環境整備・安全支援をしたい	78	23.0%
3 実技教科補助、放課後学習補助等の学習支援をしたい	25	7.4%
4 部活動の支援等の文化・スポーツ行事をサポートしたい	39	11.5%
5 休日や放課後等を使って、スポーツ教室や書道教室等を開いて子どもたちと交流したい	20	5.9%
6 地域の伝統や歴史を子どもたちに伝えていく活動をしたい	37	10.9%
7 その他	28	8.3%
平均(その他を除く)	53	15.5%

<その他の主な回答>

- 見守り活動(青パト等)
- 通学路の見守り
- 防災活動の取組や意見交換
- 学校が地域に存在すること、運動会などの行事を理解し、文句を言うような態度をとらないようにする間接的な関わり
- 地域で取り組む防災対策・防災活動
- 高齢者にも役立つことがあれば手伝いたい
- 子どもたちと交流できればすばらしい
- 学校事務・教員サポート



問7 (仮称)西信達義務教育学校の設備や機能で優先して充実してほしいことは何ですか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

○「すべての教室・体育館へのエアコンの設置」の回答(74.6%)が最も多くなっています。

○次いで、「小学校低学年の児童が安心して遊べる校庭・遊具」「多様なスポーツや活動ができる運動場や体育館」「ICT機器を十分に活用できる教育環境」「様々な事情で教室に入りにくい子どもたちの居場所」の順に回答が多く、約5～6割の回答率でした。

【問7 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 すべての教室・体育館へのエアコンの設置	253	74.6%
2 ICT機器を十分に活用できる教育環境	169	49.9%
3 小学校低学年の児童が安心して遊べる校庭・遊具	190	56.0%
4 様々な事情で教室に入りにくい子どもたちの居場所	167	49.3%
5 豊かな蔵書のある図書室	106	31.3%
6 太陽光発電設備等の環境に配慮した設備	73	21.5%
7 多様なスポーツや活動ができる運動場や体育館	170	50.1%
8 体が不自由な人が利用できるエレベーターの設置	139	41.0%
9 地域連携活動時に利用できる駐車場	88	26.0%
10 その他	12	3.5%
平均(その他を除く)	151	44.4%

<その他の主な回答>

- 洋式トイレ、車いす用トイレ
- 災害に強い建物
- 放課後に子どもたちが集まって遊んだり、学んだりできる所。泉南中学校の青少年センターのような所を併設
- 災害時のトイレ難民ゼロに向けた浄化槽の設置
- 広い教室
- 図書館司書の配置



問8 緊急時における地域の避難所としての学校についてあなたの考えを教えてください。

(該当するものすべてに○をつけてください。)

- 「夏季や冬季の避難に備え体育館等のエアコンの設置」の回答(77.0%)が最も多くなっています。
 ○次いで、「停電時でも避難所運営ができる非常用発電装置」「高齢者や体が不自由な人も利用しやすいようにバリアフリーを重視した施設」「防災備蓄品を備えた防災倉庫」「仮設トイレ等が設置できるような設備」の順に回答が多く、約6~7割の回答率でした。

【問8 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 夏季や冬季の避難に備え体育館等のエアコンの設置	261	77.0%
2 高齢者や体が不自由な人も利用しやすいようにバリアフリーを重視した施設	223	65.8%
3 防災備蓄品を備えた防災倉庫	219	64.6%
4 仮設トイレ等が設置できるような設備	200	59.0%
5 停電時でも避難所運営ができる非常用発電装置	236	69.6%
6 普段学校を利用しない人でも分かりやすい施設配置	114	33.6%
7 ペットが避難できる場所(屋外で雨風をしのげる屋根付等)の確保	87	25.7%
8 その他	8	2.4%
平均(その他を除く)	191	56.5%

<その他の主な回答>

- ボランティアの休息できる施設、備品
- 体育館を2階にして避難所にする
- 水害に備えた3階以上の高い施設
- 橋を渡らずに避難できる避難所が欲しい
- 津波の避難所として対応できる施設



問9 (仮称)西信達義務教育学校に複合したほうが良いと思う機能・施設は何ですか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

- 「留守家庭児童会」の回答(57.5%)が最も多くなっています。
- また、「公民館をはじめとした地域連携の拠点となるコミュニティー施設」の回答が多く、約4割の回答率でした。
- 次いで、「交番や消防分団等の官公署」「図書館」の順に回答が多く、3割以上の回答率でした。

【問9 回答】

選択肢(複数回答)	回答数	回答率
1 公民館をはじめとした地域連携の拠点となるコミュニティー施設	144	42.5%
2 留守家庭児童会	195	57.5%
3 図書館	105	31.0%
4 交番や消防分団等の官公署	118	34.8%
5 地域の伝統や歴史を学べる資料館	60	17.7%
6 その他	8	2.4%
平均(その他を除く)	124	36.7%

<その他の主な回答>

- 防火水槽
- 災害時シミュレーションができる機能
- 自習スペース(静かな場所)
- 交番が隣にあると安心
- コンビニ
- ボーイスカウト等地域青少年教育団体の延長となる施設



5. その他

問 10 西信達小学校跡地がどのような場になるのが良いと思いますか？

(該当するものすべてに○をつけてください。)

- 「公園や広場等が整備され、たくさんの人が集い、にぎわいや活気あふれる場」の回答（43.7%）が最も多くなっています。
- また、「多世代交流施設等が整備され、子どもからお年寄りまで幅広い世代が集う交流の場」の回答（43.1%）が多くなっています。
- 次いで、「スポーツ施設等が整備され、スポーツやレクリエーション等体を動かす健康づくりの場」「主として商業施設等が整備され、地域住民が日常的に買い物できる場」の順に回答が多く、約3割の回答率でした。

【問 10 回答】

選択肢（複数回答）	回答数	回答率
1 公園や広場等が整備され、たくさんの人が集い、にぎわいや活気あふれる場	148	43.7%
2 スポーツ施設等が整備され、スポーツやレクリエーション等体を動かす健康づくりの場	118	34.8%
3 多世代交流施設等が整備され、子どもからお年寄りまで幅広い世代が集う交流の場	146	43.1%
4 主として商業施設等が整備され、地域住民が日常的に買い物できる場	96	28.3%
5 上記1～4の機能等が備わった公共と民間の連携による魅力のある場	71	20.9%
6 その他	29	8.6%
平均（その他を除く）	116	34.2%

<その他の主な回答>

駅の利便性向上

- 駅のロータリー
- 駐車場
- 駅の拡大
- 駅前の公共の場

商業関連

- コンビニ
- 食料品店
- 商業施設
- 外部の人も来たくなるような施設

防災

- 防災拠点
- 避難所

その他

- 宅地にして子どもを増やす
- 売却して、そのお金を教育関連に使ってほしい
- 売却しないでほしい
- 既存施設の活用して、趣のあるギャラリーや商業施設など
- 放課後の学習補助等ができる場所
- 児童館のような未就学児と親子で遊べる場所
- くねあの園庭